

10 - 2 「1万分の1兵庫県南部地震に伴う地震断層ストリップマップ」の刊行
Publication of the strip map of the surface fault ruptures associated with 1995
Hyogo-Ken Nanbu earthquake, central Japan, scale 1:10,000

地 質 調 査 所
Geological Survey of Japan

工業技術院地質調査所は1998年12月に、1995年兵庫県南部地震に伴って出現した地震断層の、詳細な位置・変位量分布および周辺の地質などを示した、縮尺1万分の1ストリップマップを刊行した(第1図)。

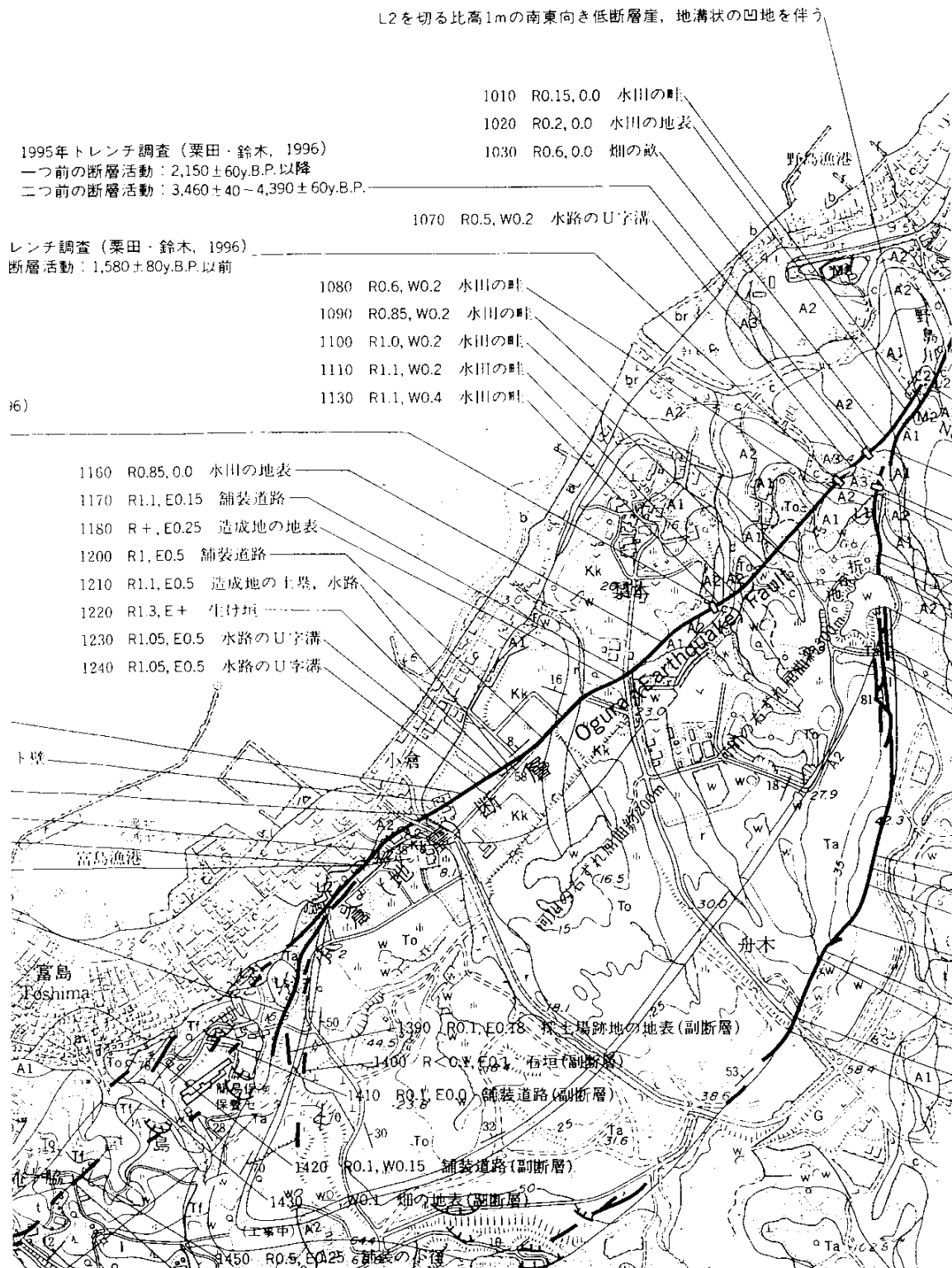
同ストリップマップ説明書には、縮尺2千5百分の1地震断層詳細図;全25図が掲載されている(第2図,第3図)。また、地質調査所による調査結果および既存の報告等に基づいて、兵庫県南部地震に伴って出現した地震断層は、以下のように総括されている(栗田・水野,1998)。

- 1)淡路島北西岸に出現した野島・小倉地震断層は全体として長さ10.5kmの北淡地震断層系をなしており、その変位量は1.4 - 1.8m(右ずれ1.2 - 1.6m,東側隆起0.5 - 0.8m)であった。なお、断層系の中央付近の長さ0.6 - 1.3km区間では変位量が大きく、最大2.5m(右ずれ2.0m,東側隆起1.4m)に達した。
- 2)北淡地震断層系の北東延長部では、明石海峡の高磯断層に沿って海底に断裂が出現したことが報告されている。これに伴って、明石海峡大橋は高磯断層に沿って1.4m右ずれ変位した。さらに、高磯断層の北東延長にあたる六甲山地南西部の横尾山断層でも、地下のトンネルにおいて数cmの変位があらわれたと報告されている。
- 3)淡路島北東岸では、大規模な採土場跡地の北西縁に沿って、長さ1.6km、変位量0.1 - 0.2m(右ずれ0.03 - 0.07m,南東側隆起0.1 - 0.2m)の地震断層が出現した。この採土場跡地では、兵庫県南部地震の以前にも長さ350m、南東側隆起0.2mの地表断層が出現していた。この地震断層は、大規模な採土による加重除去に伴って地殻が隆起し、兵庫県南部地震に伴って断層変位が誘発された可能性が指摘されている。

(栗田泰夫・水野清秀)

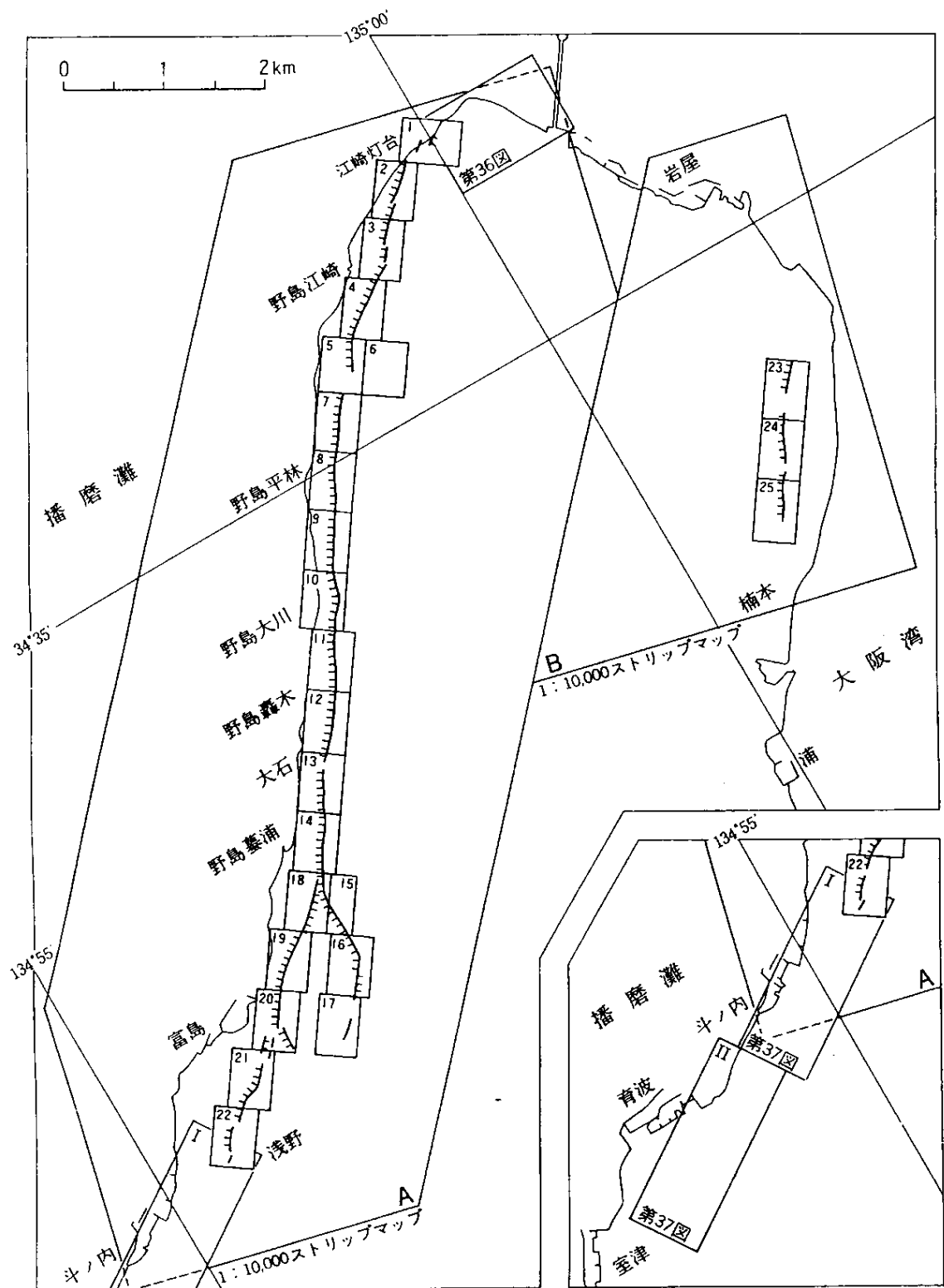
参 考 文 献

- 1)栗田泰夫・水野清秀:1万分の1兵庫県南部地震に伴う地震断層ストリップマップ—野島・小倉及び灘川地震断層—。構造図12,地質調査所(1998),74P。



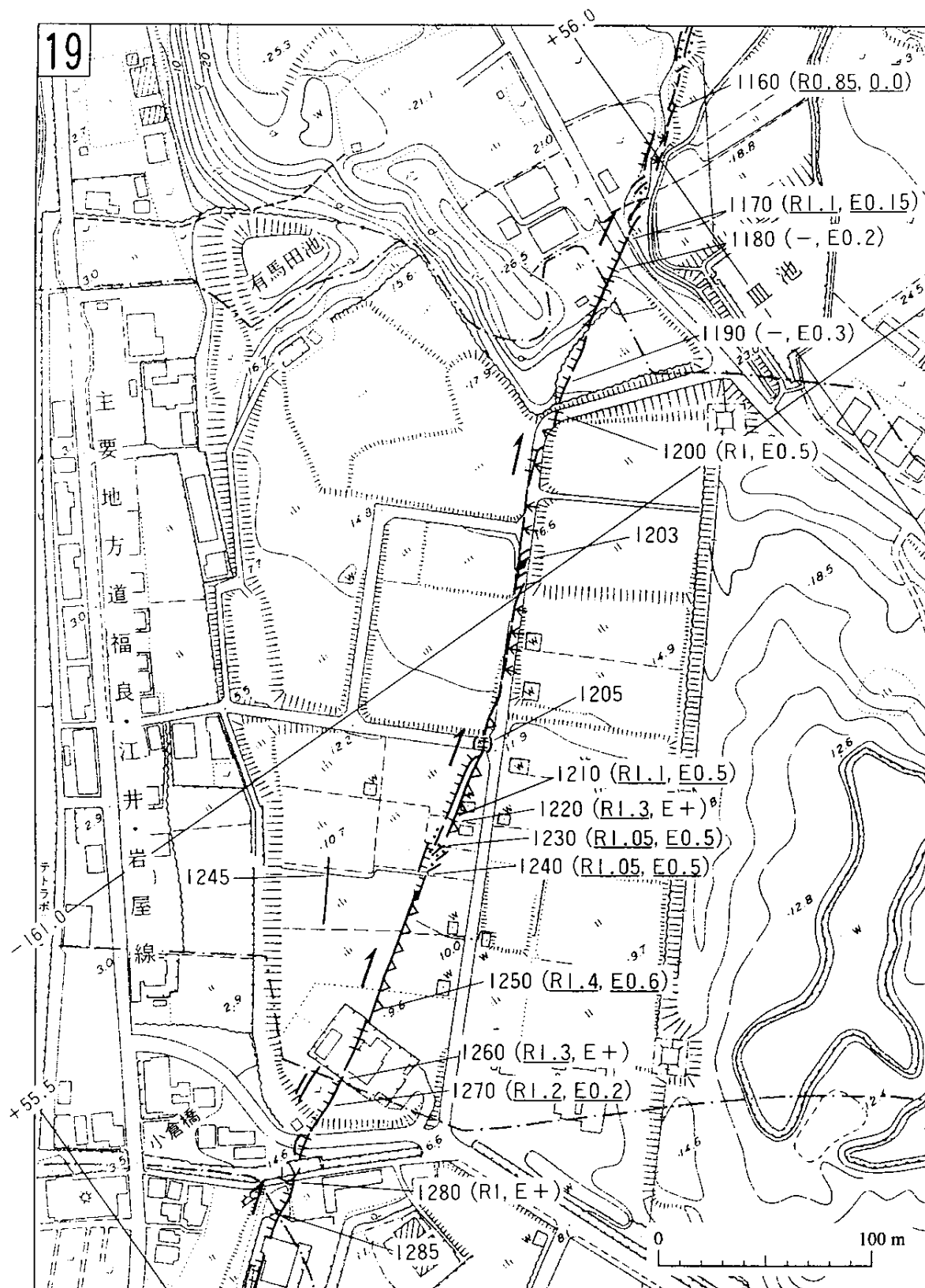
第1図 1万分の1兵庫県南部地震に伴う地震断層ストリップマップ（一部）

Fig.1 A part of the strip map of the surface fault ruptures associated with the 1995 Hyogo-Ken Nanbu earthquake, scale 1: 10,000.



第2図 地震断層詳細図の索引図

Fig.2 Index map of the detailed surface rupture maps.



第3図 地震断層詳細図の例

Fig.3 A sheet of the detailed surface rupture map.